

開発環境構築手順書

0.01 版：2011年09月19日

版数管理表

版数	日 付	内 容	担 当
0.00	2010/12/16	暫定版作成	
0.01	2011/09/19	全面更新	

目次

1. 適用.....	1
2. 関連ソフトウェア.....	1
3. 開発環境.....	1
4. Qt 4.7.2 インストール方法.....	2
5. QtのVisualStudioアドイン インストール方法.....	5
6. 環境変数の設定方法.....	7
7. VisualStudio-2010 上での操作方法.....	10
8. VisualStudio-2010 外での実行方法.....	14

1. 適用

本書は、『FCAN-View ソフト』（以下、本ソフト）の開発環境構築に関する事項に適用します。

2. 関連ソフトウェア

PCAN-Basic V1.04.12	PEAK-System
qt-win-opensource-4.7.2-vs2008.exe	Qt
qt-vs-addin-1.1.9.exe	Qt
VisualStudio 2010 Professional	MicroSoft

3. 開発環境

本ソフトは GUI ソフト (Qt) を VisualStudio-2010 にアドインし開発を行います。

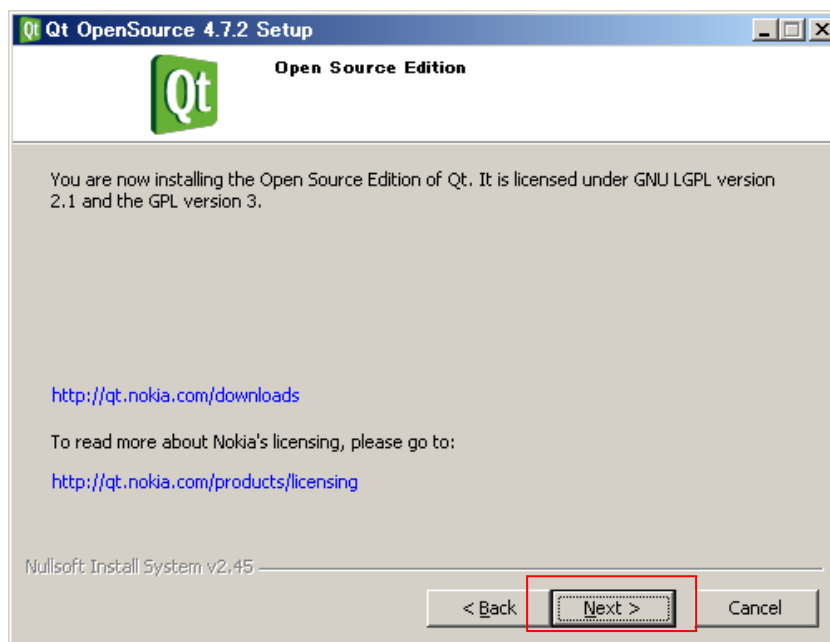
No	項目	用途
1	開発およびターゲットプラットフォーム	Microsoft WindowsXP (SP3) 32bit Microsoft Windows7 32bit
2	コンパイラ	Microsoft Visual Studio 2010
3	GUI ツールキット	Qt 4.7.2 (GPL/LGPL)
4	GUI ライブラリ	Qt 2010.05
5	CAN ドライバキット	PCAN-Basic V1.04.12

4. Qt 4.7.2 インストール方法

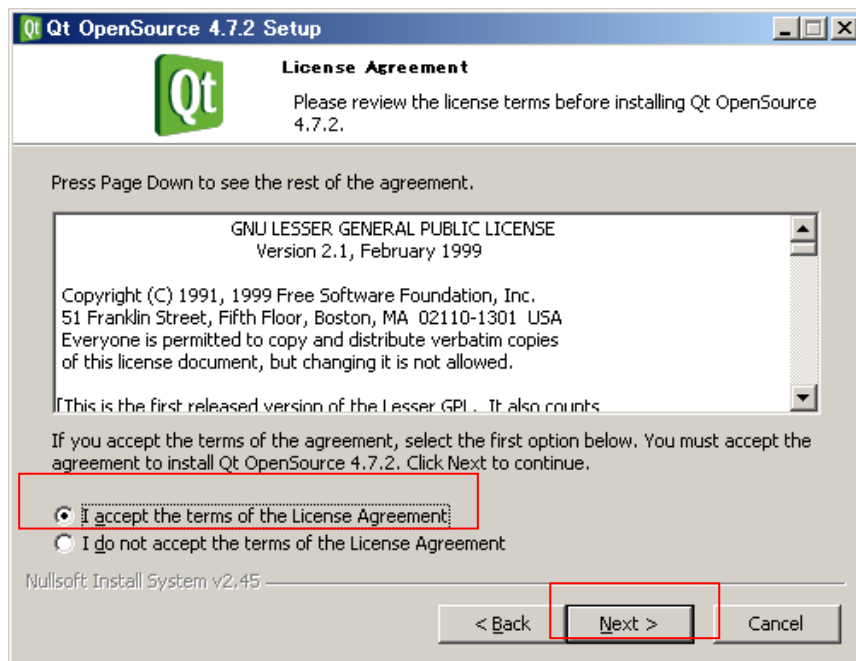
『qt-win-opensource-4.7.2-vs2008.exe』を管理者権限にて起動します。



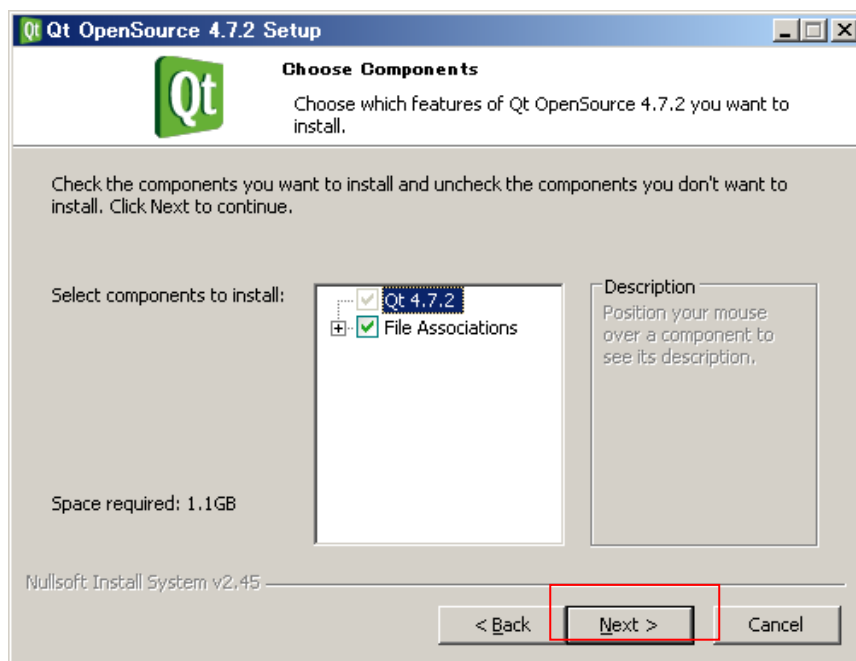
起動後、『Next』ボタンを押し次項に移ります。



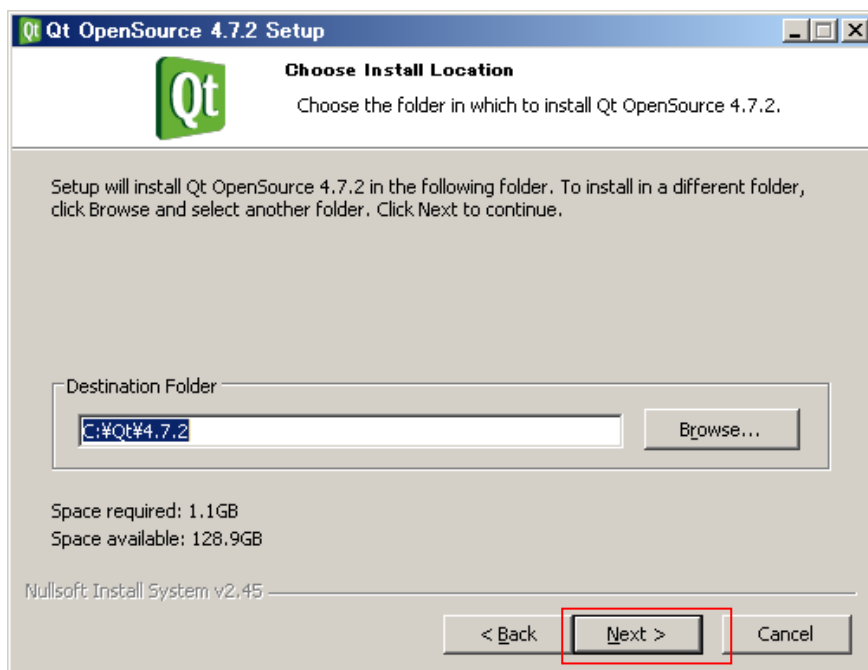
『Next』ボタンを押し次項に移ります。



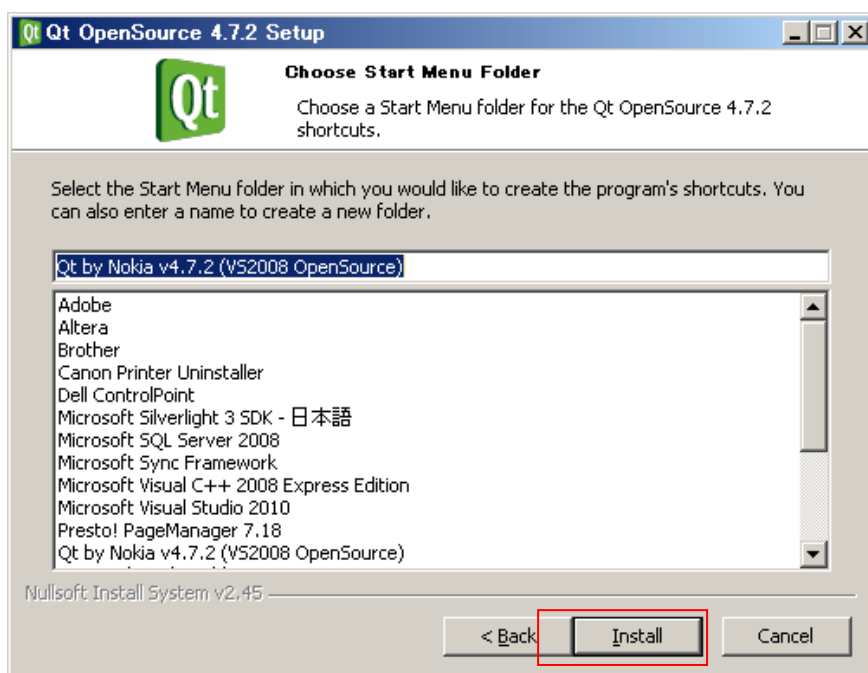
『I accept the teams of the License Agreement』を選択し『Next』ボタンを押し次項に移ります。



コンポーネントを選択し『Next』ボタンを押し次項に移ります。
デフォルトのままでOKです。



インストールディレクトリを選択し『Next』ボタンを押し次項に移ります。

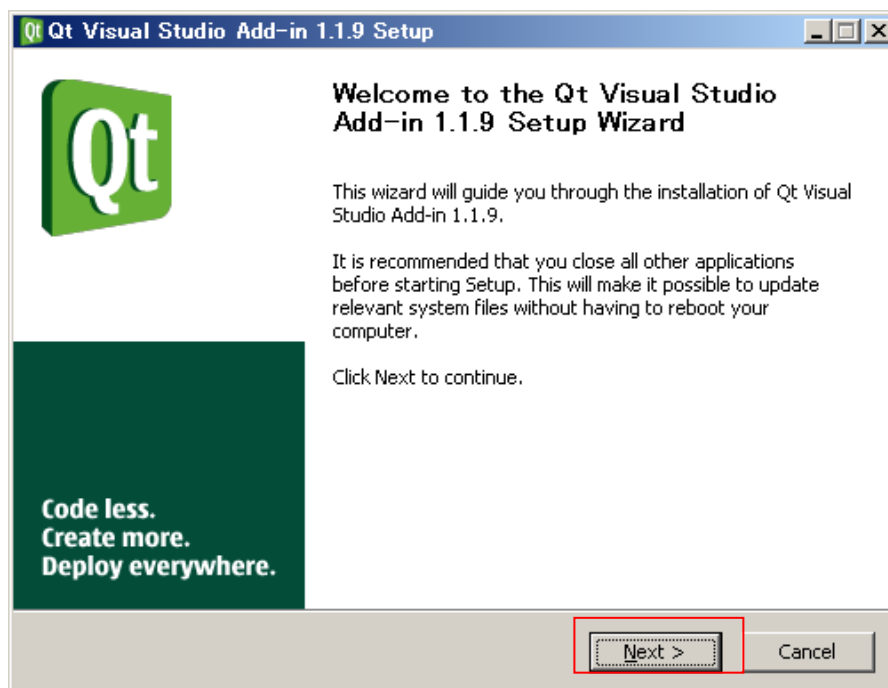


メニューフォルダを確認後『Install』ボタンを押しインストールを開始します。

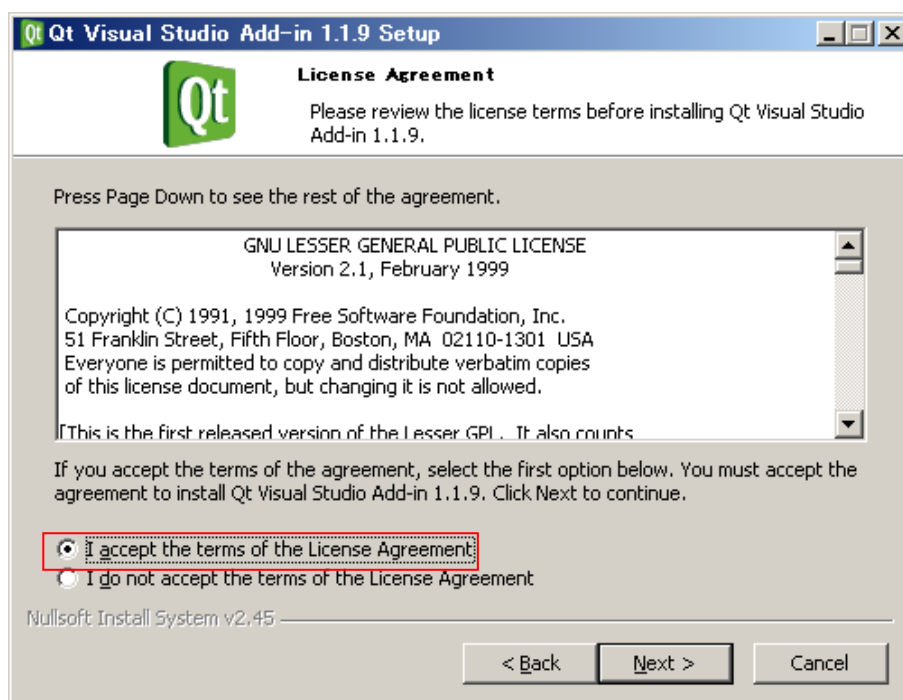
その後、問題なくインストールが終了すればQt 4.7.2 のインストールは終了です。

5. QtのVisualStudioアドイン インストール方法

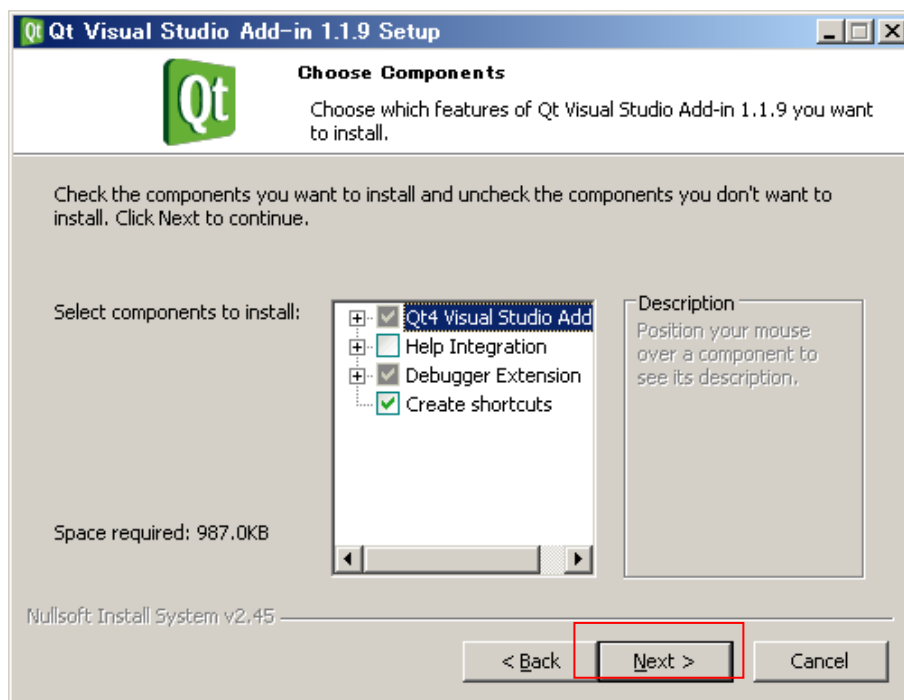
『qt-vs-addin-1.1.9.exe』を管理者権限にて起動します。



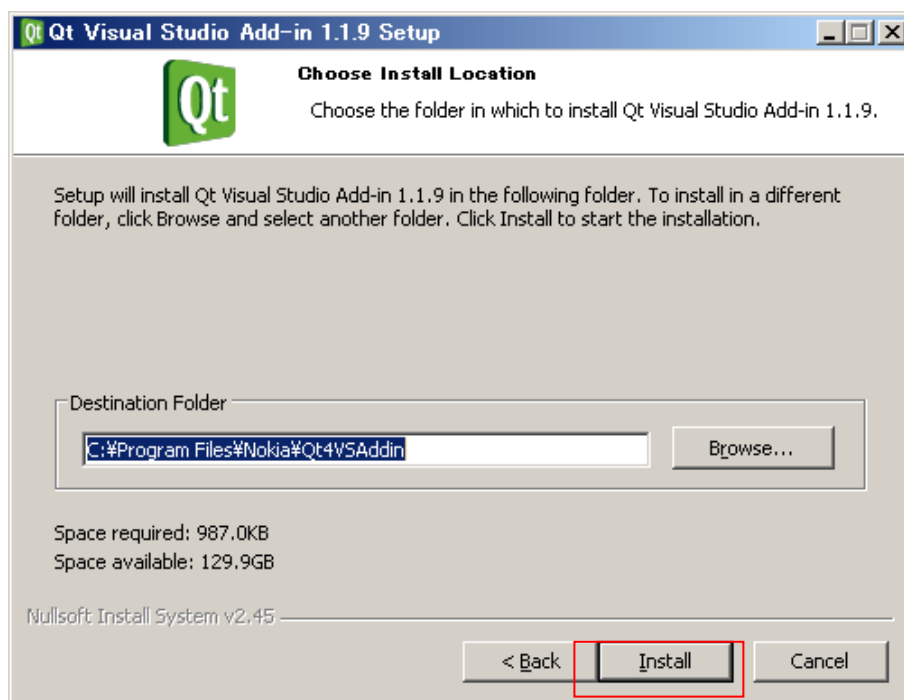
起動後、『Next』ボタンを押し次項に移ります。



『I accept the teams of the License Agreement』を選択し『Next』ボタンを押し次項に移ります。



コンポーネントを選択し『Next』ボタンを押し次項に移ります。
デフォルトのままでOKです。

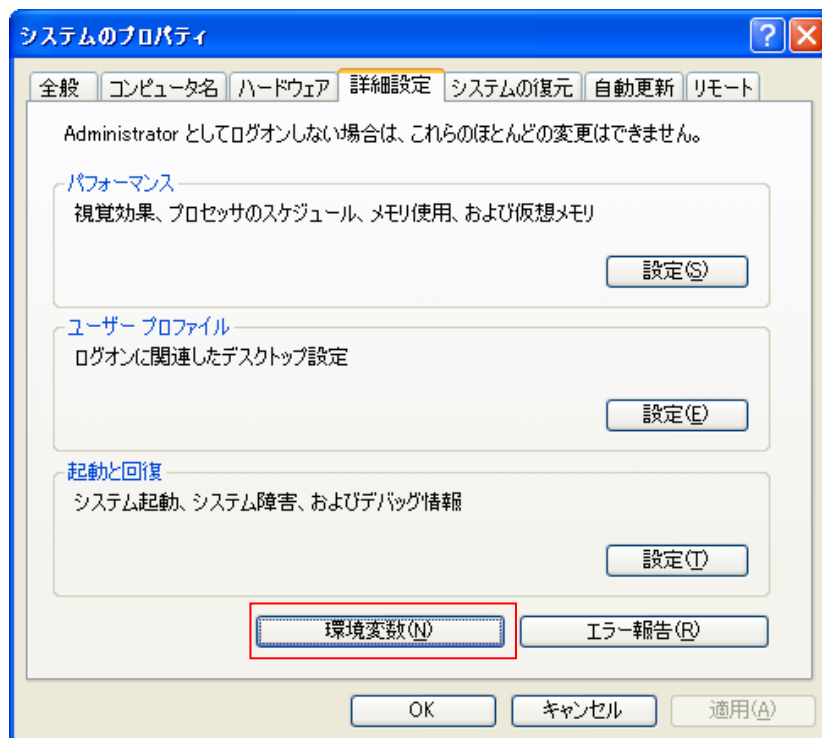


インストールディレクトリを選択し『Install』ボタンを押しインストールを開始します。

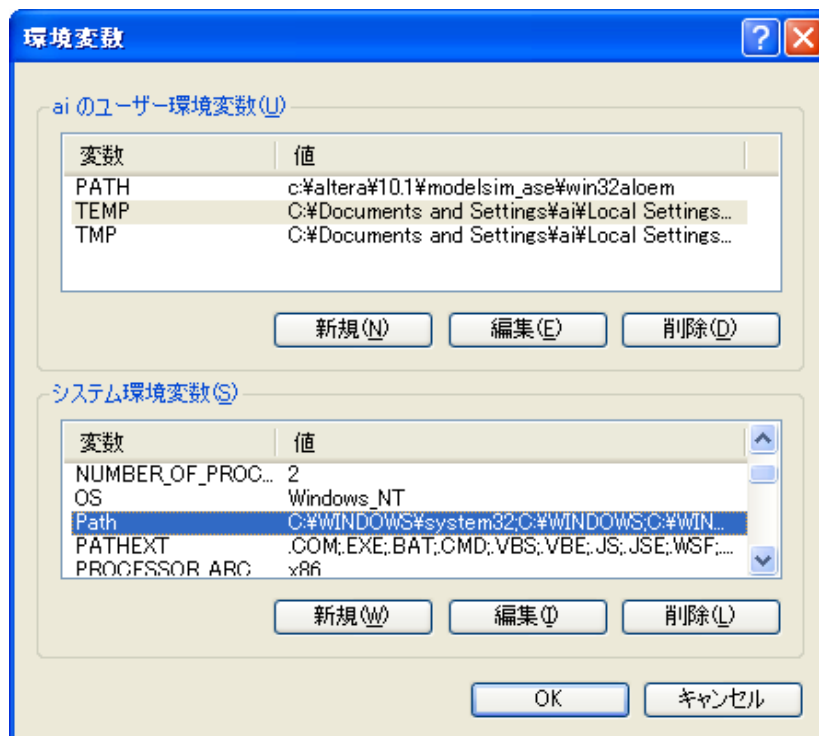
その後、問題なくインストールが終了すればQt-VS-addin-1.1.9 のインストールは終了です。

6. 環境変数の設定方法

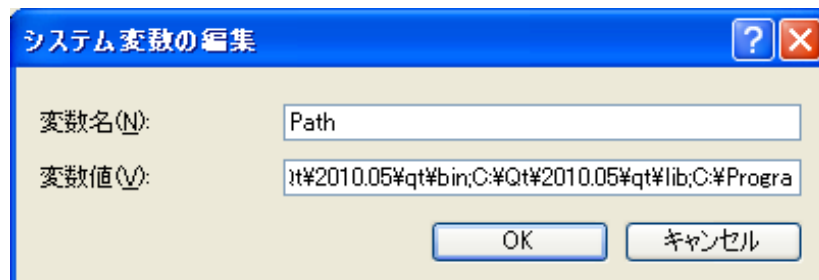
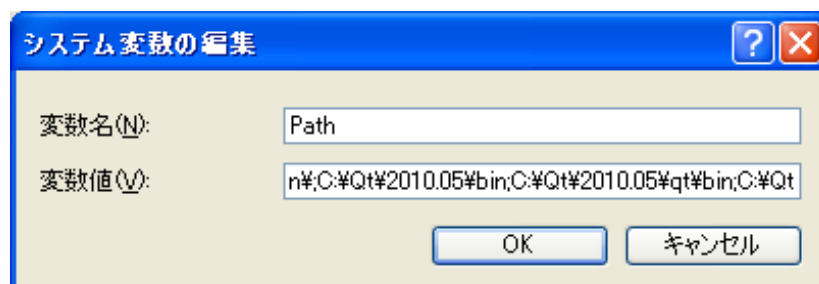
『Qt 4.7.2』のみを使用する場合は特に必要ありませんが、『Qt 2010.05』を再コンパイルする場合は下記の設定が必要になります。



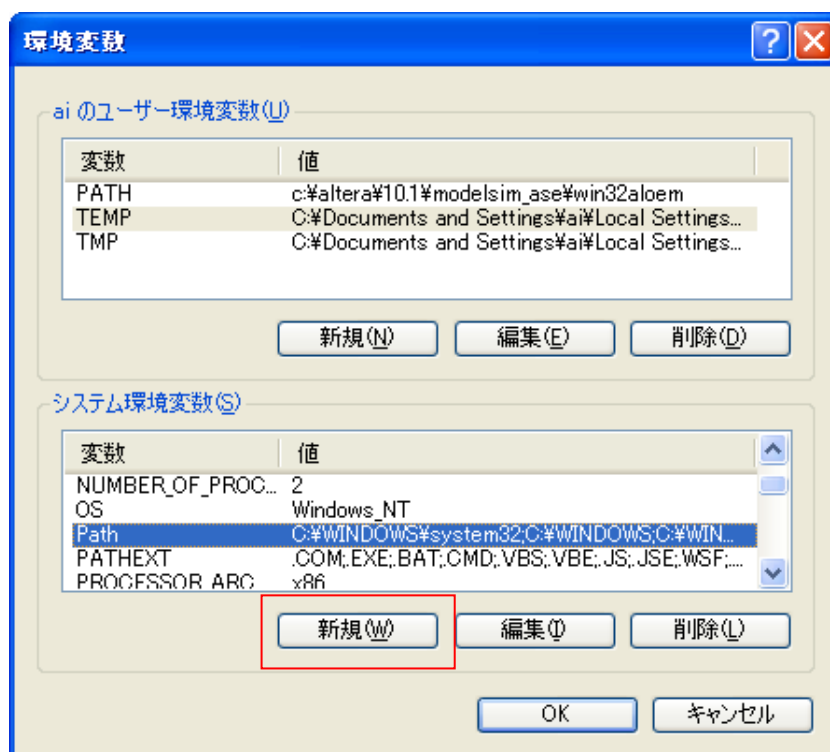
システムのプロパティより『環境変数』を選択します。



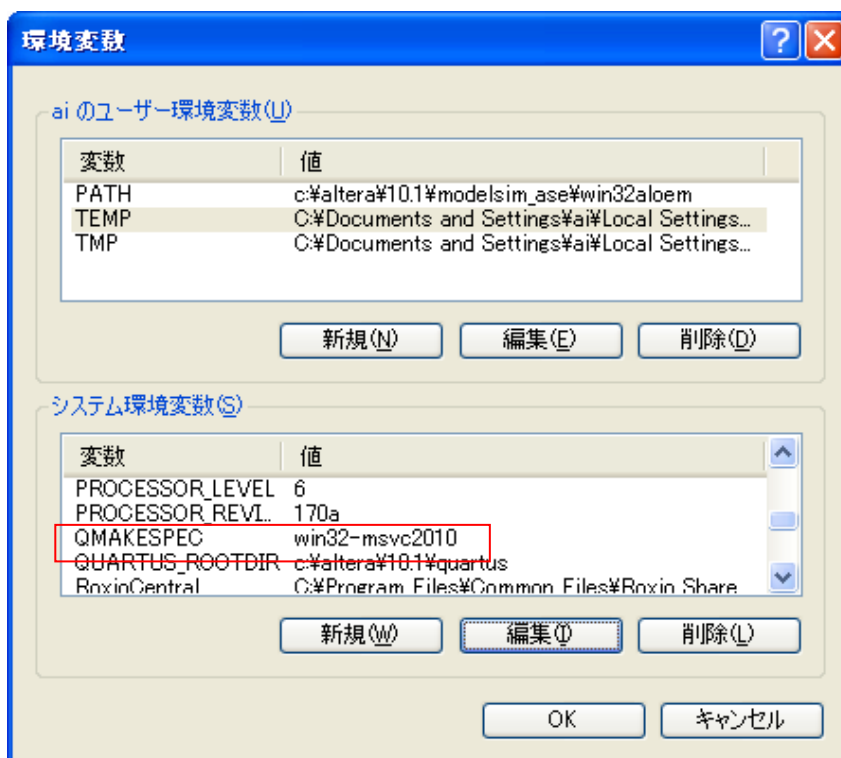
システム環境変数の『Path』を選択し『編集』を押しパスを編集します。



Qt のインストールディレクトリは『C:%Qt』であれば、
 C:%Qt%2010.05%bin;
 C:%Qt%2010.05%qt%bin;
 C:%Qt%2010.05%qt%lib;
 を追加します。



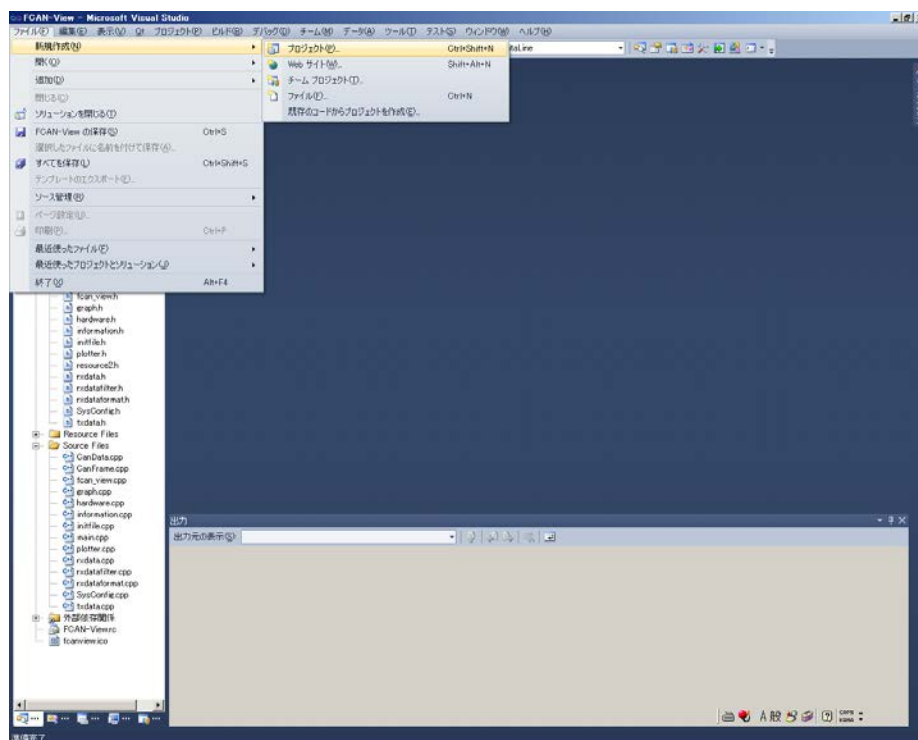
システム環境変数の『新規』を押し下記の設定を追加します。



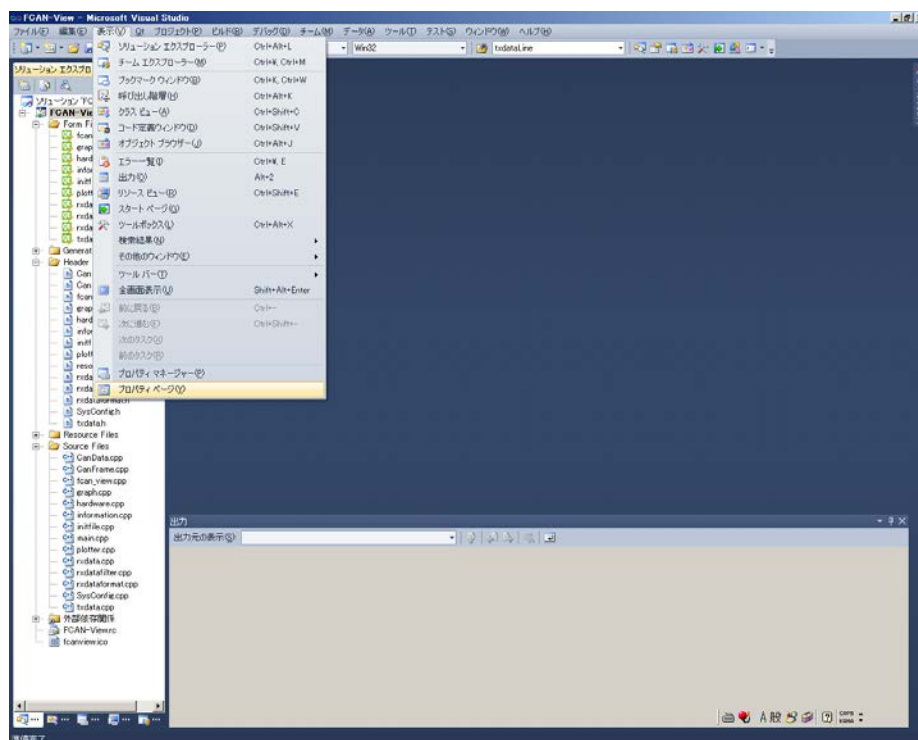
QMAKESPEC win32-msvs2010 を追加します。

以上で環境変数の設定は終了です。

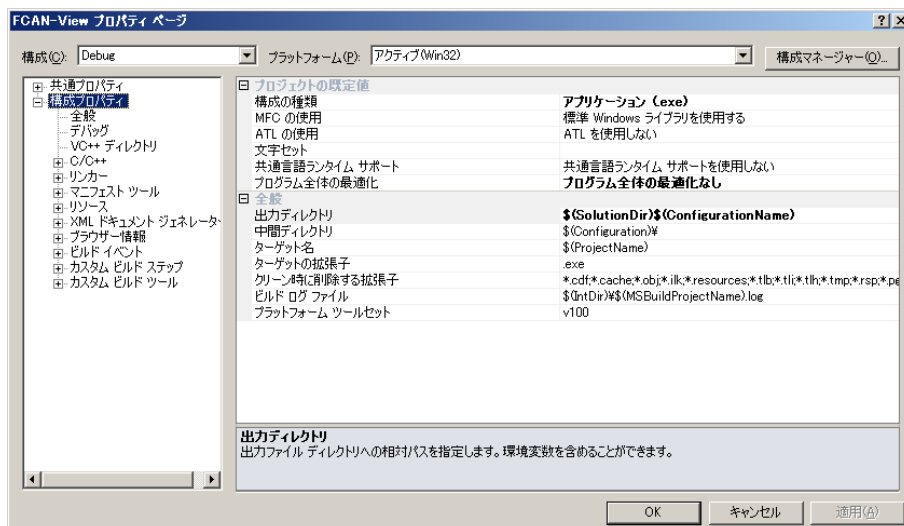
7. VisualStudio-2010 上での操作方法



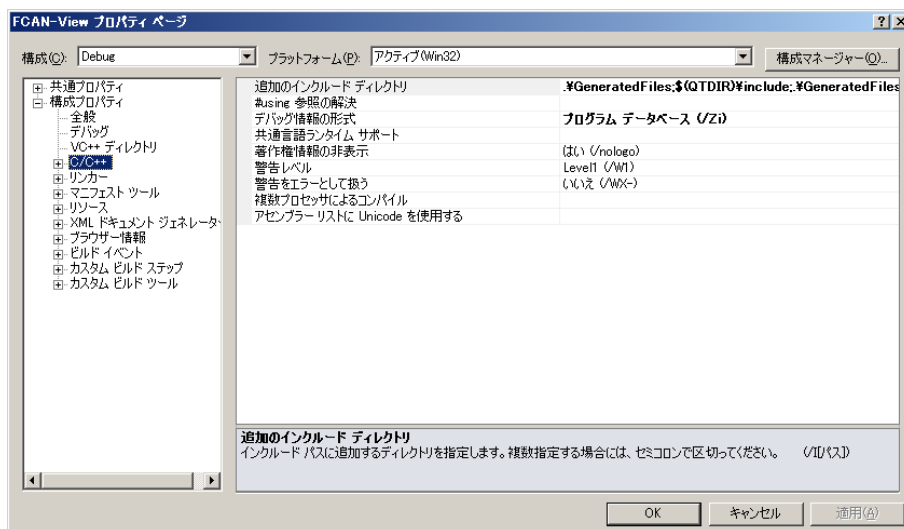
VisualStudio-2010 起動後、ファイル>開く->プロジェクトソリューションにて FCAN-View ソリューションファイルを選択します。



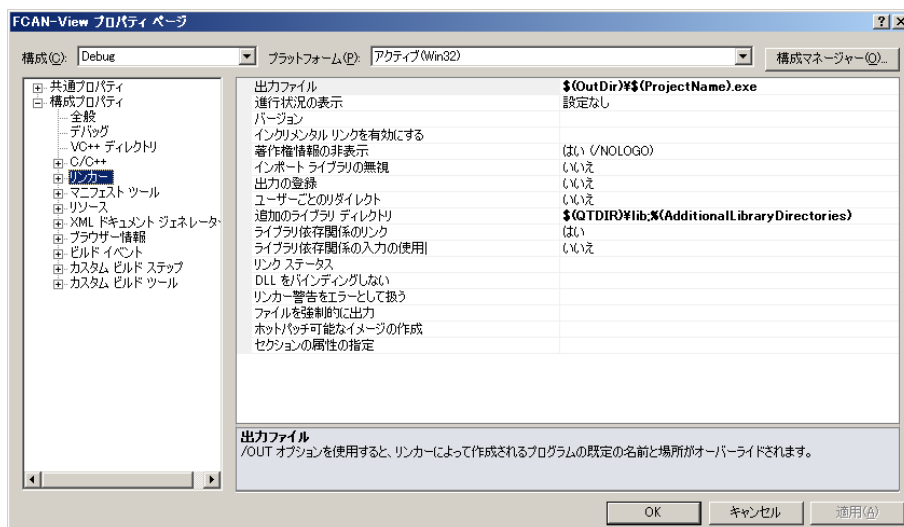
表示->プロパティページにて構成プロパティの設定を行います。



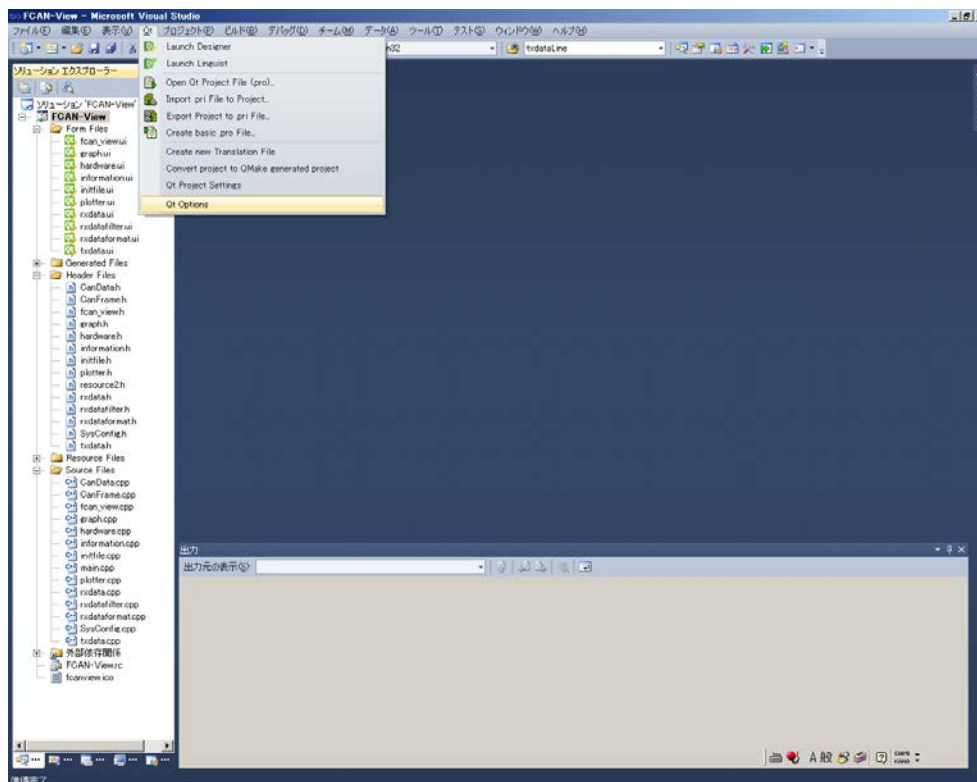
『全般』の設定は上記のとおりです。



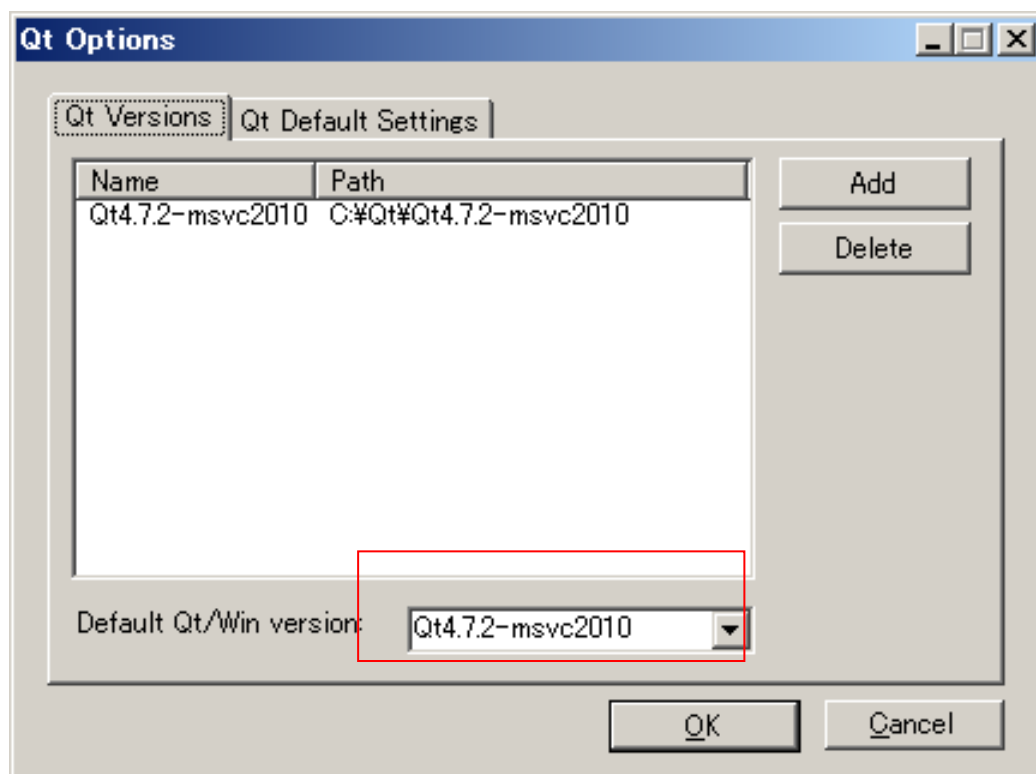
『C/C++』の設定は上記のとおりです。



『リンカー』の設定は上記のとおりです。



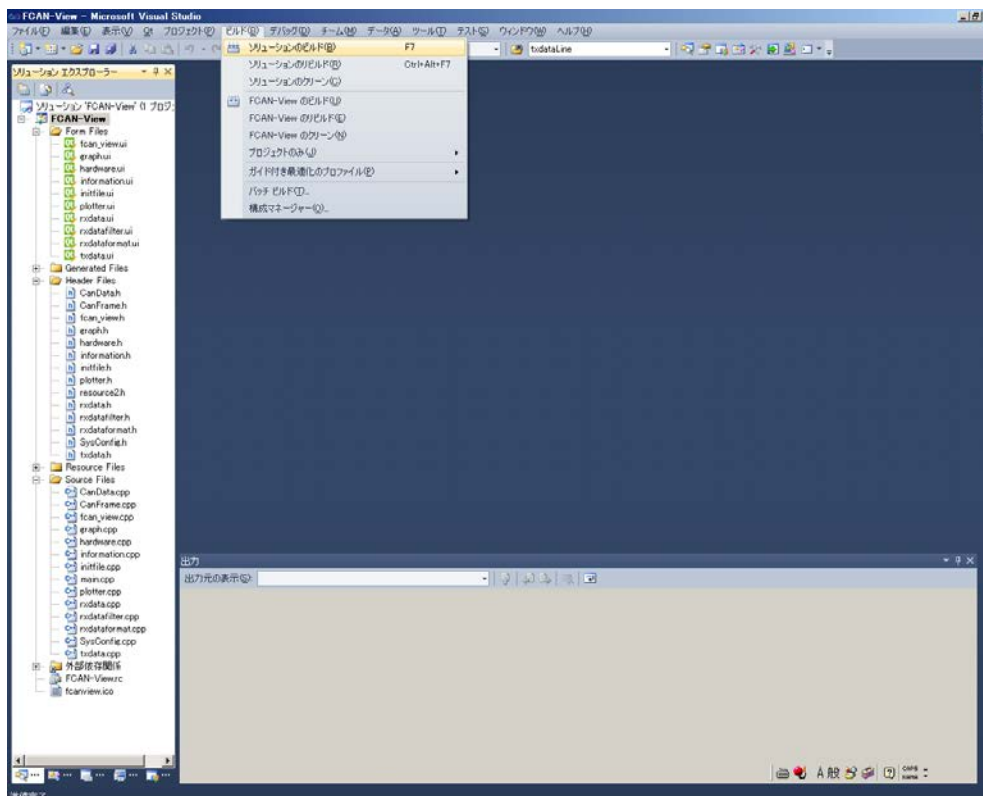
Qt->Qt OptionにてQt ライブラリの設定を行います。



Default Qt/Win version にて『Qt4.7.2-msvc2010』を選択します。

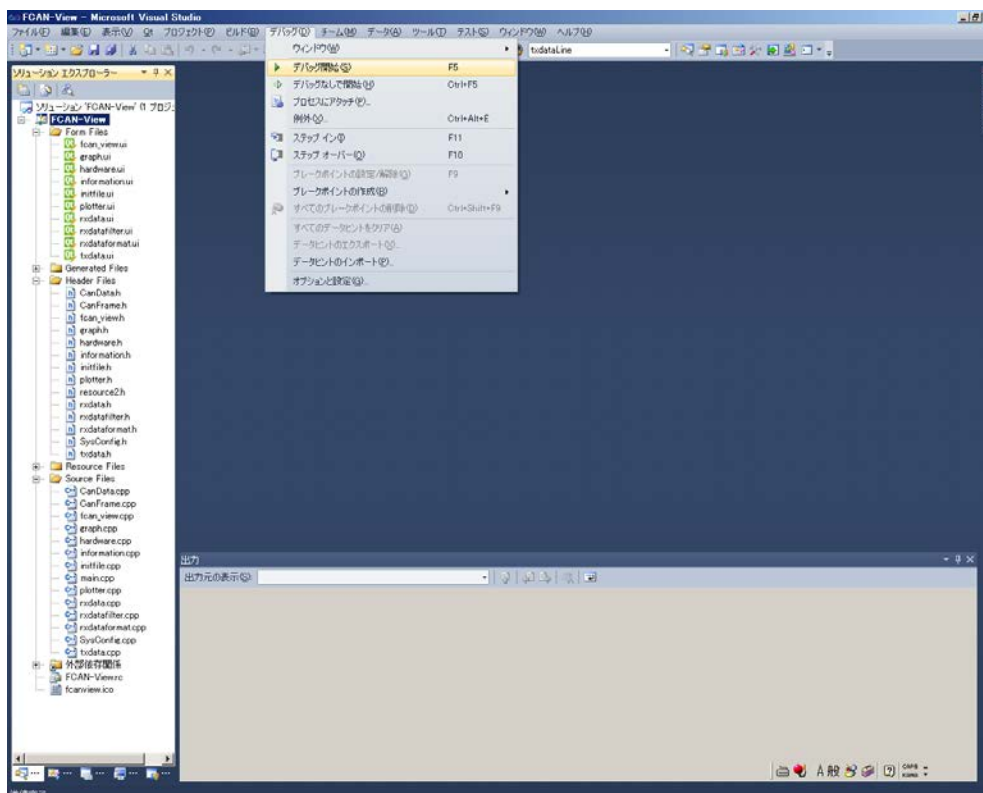
『Qt4.7.2-msvc2010』はコンパイル後提供しているファイルであり、C:\Qt の下に解凍しコピーしたファイルです。

ビルトを実行するには、



ビルト→ソリューションのリビルドにて実行します。

デバックを実行するには、



デバック→デバックの開始にて実行します。

8. VisualStudio-2010 外での実行方法

VisualStudio-2010 のデバック環境外で本ソフトを実行する場合、VisualStudio-2010 でのビルトの実行は構成を「Release」にて実行して下さい。また、下記のファイルが必要になります。

No	ファイル名	内容
1	FCAN-View.exe	VisualStudio-2010 にてビルトされた実行ファイル
2	PCANBasic.dll	PCANBasic ハードウェア制御 DLL ファイル
3	QtCore4.dll	Qt 用 DLL ファイル
4	QtGuid.dll	Qt 用 DLL ファイル
5	Images	ディレクトリで No6, No7, No8 ファイルを収めます。
6	Zoomin.png	ZOOM-In ボタン用ファイル
7	zoomout.png	ZOOM-Out ボタン用ファイル
8	FCAN-View.bmp	FCAN-View アイコンファイル

これらのファイルを同一ディレクトリ内に用意します。その後『FCAN-View.exe』を実行します。
提供した『FCAN-View_Exe』ディレクトリ内にすべてのファイルが用意されています。
また、本ソフトを変更した場合、上記ファイル以外にも必要になる場合がありますので、その場合は Qt ディレクトリから検索し用意して下さい。

本ソフトの実行にはランタイムライブラリを使用していますので下記URLよりダウンロードしてインストールを実施してください。

<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?FamilyID=a7b7a05e-6de6-4d3a-a423-37bf0912db84>